

## ●加工を知っている頼もしいツール……

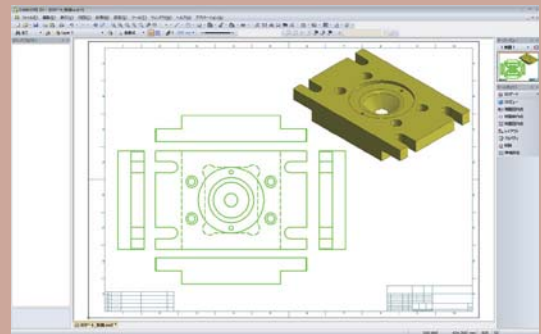
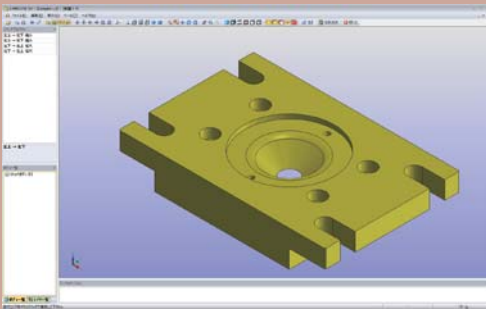
「3Dゲート モジュール」はCAMCORE EX上で動作する3Dデータの有効活用を目的とした製品です。主に、3Dデータを2D変換する際の手間を大幅に削減でき、2次元CAD画面上で側面図や断面図の作成が可能なので、3Dデータに不慣れな方でも戸惑う事無くオペレーションできます。設計から製造まで幅広い分野で活用されている3Dデータの利点を、2.5次元CAMに取り入れる事によって、新しい視点での工数削減を実現することができます。

### ●主な特徴

- 3D CADで信頼性の高い「Parasolidエンジン」を採用
- 多様なフォーマット「Parasolid、ACIS、IGES、STEP」に対応
- 3Dデータのダイレクト計測や印刷が可能
- CAD画面上で側面図、アイソメ図、断面図の作成が可能
- 2D変換は加工を意識した滑らかな円弧に変換可能
- 3DデータはCAD図面に埋め込まれる為、データの管理に最適

対応  
フォー  
マツト

Parasolid (x\_t、x\_b)  
ACIS (sat、sab)  
IGES (igs、iges)  
STEP (stp、step)

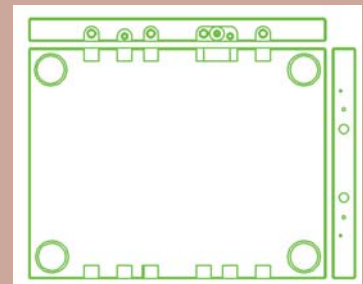
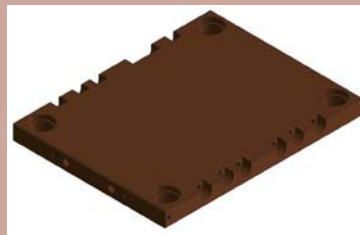
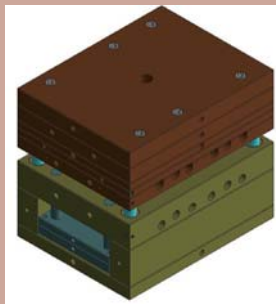


### ●3Dビューの機能

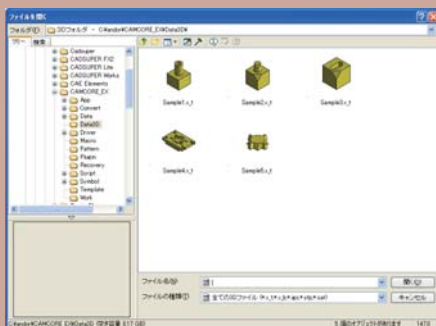
- 読み込みの際に自動で3Dデータの最適化(シートの縫い合わせやジオメトリの単純化)が可能です。
- 複数のアセンブリパーツで構成された3Dデータであっても必要なパーツのみ表示させ、投影変換する事が可能です。

投影したいモデルを抽出

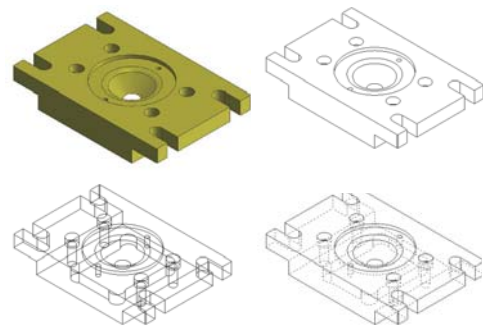
投影図作成



■ ファイル開で3Dデータのサムネイル表示が可能



■ 豊富なレンダリング表示



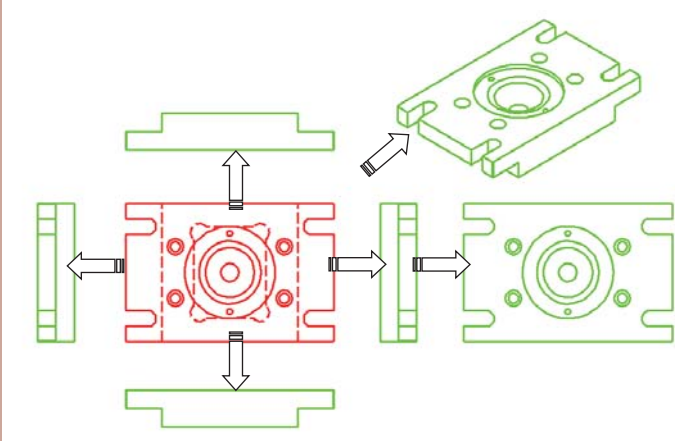
### ●3D計測機能

- 3D要素の情報や3D要素間の距離など、ダイレクトに3Dデータの計測が可能となります。

## ● 投影図の作成

- 挿入した投影図を元に、CAD画面上で側面図の作成が行えます。
- 対象となる投影図を選択し、右側面図を作成する場合はマウスを右側へ、左側面図は左側へと、マウスの位置関係により、アイソメ図を含めると最大で8方向の側面図を配置することができます。
- 挿入投影図以外に作成された側面図を対象とする事もできる為、背面図の作成などに使用できます。

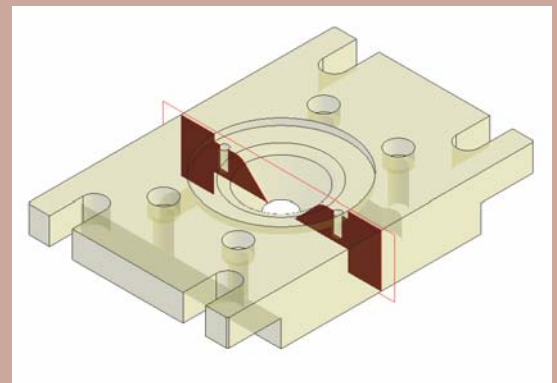
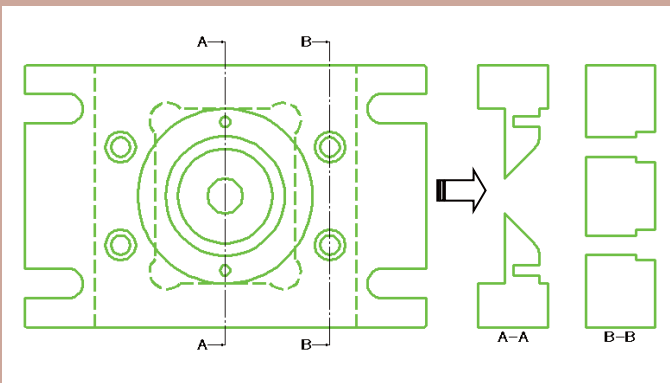
- 配置する際には、コマンドプロパティでレンダリング状態の変更が可能なので、3Dの画面へ戻る必要はありません



## ● 断面線 / 断面図の作成

- 断面図を作成する前に、断面線を定義する事で効率良く断面図を作成することができます。
- 断面線はJISの切断線表記に準拠しており、そのまま寸法線として使用できます。
- 複数ポイントを指定して階段形状の切断や通過点の指定も可能となっています。
- 断面図の作成は前もって定義した断面線を選択するだけで、断面図を配置することができます。

- 断面図の3Dプレビュー



## ● 加工を意識した滑らかな円弧補間

3Dデータを単純に2D変換した場合、重複要素の発生や、円/円弧の分断、微小線分化された3D曲線など、そのままではCAM定義の際に多くの問題が出てきます。また、2D変換後に手作業で図形補正を加えるとなると、非常に手間の掛かる作業となってしまいます。3Dゲートは、2D変換の際に自動で最適化処理を行いますので、図形を修正することなく加工に使えるデータとなります。

投影変換

最適化なしの場合

最適化ありの場合

